

2008年度 放電学会第4回理事会議事録

1. 日時： 平成20年12月8日（月） 16:00～17:45
2. 場所：芝浦工業大学 豊洲校舎 研究棟3階 大学会議室1
3. 出席者：日高会長（東京大学）、田中副会長（三菱電機）、湯本副会長（武蔵工業大学）、大木理事（早稲田大学）、新藤理事（電力中央研究所）、鈴木理事（東芝）、野末理事（芝浦工業大学）、松本幹事（芝浦工業大学）

（敬称略、順不同）以上8名

4. 配布資料

1. 議案項目等
2. 前回の議事録
3. 年次大会の報告
4. 年次大会の会計報告
5. 総会の開催日時及び場所
6. 若手セミナー開催報告及び会計報告
7. 放電学会誌企画案

5. 議事要旨

5.1 前回の議事録確認

一部字句を修正して承認。

5.2 事務局の外注化について

- ・日高会長より説明された。
- ・野末理事とで検討した。
- ・業者とコタクトして次回の理事会に見積書を提案して決定したい。

5.3 来年度の春のシンポジウムについて

- ・開催テーマに関して以下の案が提案された。
 - ・レーザ関係
 - ・高電圧測定関係
 - ・基礎過程も含めた雷関係（電気学会とは異なる視点で）
 - ・ナノ材料、部分放電、インバータサージ等を絡ませた絶縁材料関係
 - ・プロトンビームを用いたイオン応用関係
 - ・宇宙、加速器等を絡ませた真空関係
 - ・EUV関係
 - ・上記の案を種々検討した。
- ・この結果EUV関係にまとを絞ることにした。この関係に詳しい堀田先生（東京工業大学）と相談することにし接触は湯本副会長にお願いする。
- ・開催は6月頃にする。

5.4 物理学会プラズマ関連学会合同シンポジウムについて

- ・日高会長より説明された。
- ・3月28日頃に立教大学で物理学会が開催される。
- ・プラズマ関係の研究を扱っている学会が共同で研究を進める事項を探ろうということで合同シンポジウムが開催される。
- ・各学会として現在どんなことを行っているか報告することになる。
- ・放電学会会長として講演をする。
- ・講演の内容は放電学会誌の内容やシンポジウムのテーマなどの放電学会の紹介である。
- ・講演時間は15分程度であり、講演者がパネルディスカッションに参加する。
- ・日高会長が合同シンポジウムでの講演及びパネルディスカッションへの参加を承認した。

5.5 事務局保管資料の廃棄について

- ・野末総務会計理事より事務局保管資料の取り扱いについて説明された。
- ・会計帳簿については直近の5年分保管するが、それ以前は廃棄する。
- ・その他の資料は廃棄する。

5.6 若手セミナーの報告

- ・鈴木研究企画理事より説明された。
- ・以下に報告を記す。

開催日時：平成20年11月14日13時～15日10時30分

開催場所：財団法人大学セミナーハウス八王子セミナーハウス

開催テーマ：大学と企業との放電応用共同研究

参加者：41名

参加者内訳：若手31名（うち企業若手5名）、講師3名、特別参加2名、会長1名、理事4名

講義1：伊藤晴雄先生（千葉工業大学）

圧電トランスによる放電プラズマ生成とその応用

講義2：山本修先生（京都大学）と堀田栄喜先生（東京工業大学）

真空・低気圧中における放電の発生制御と応用技術

若手の研究発表：ポスタ形式

優秀発表者：

櫻林裕矢（武蔵工業大学）「電子照射によるPMMAの表面硬度向上—FT-IRによる化学構造分析」

武田敏信（東京大学）「急峻方形波印加時のCF₃Iの放電特性」

内藤潤（岩手大学）「同軸円筒型バリア放電方式 NO_x除去に対する初期ガス

条件の影響」

寺西研二（徳島大学）「圧電トランス型プラズマリアクタの表面電位と放電電力空間分布」

セミナースケジュール

1日目：講師による講演、若手のポスタ発表、2班に分かれての討論会
討論テーマ

A班：組織とオリジナリティー

B班：若手セミナーの今後と来年以降人を集めるために

2日目：集合写真、前日の討論のまとめと全体討論

会計：

収入 384,500円 支出 396,780円

収支差 384,500円 - 396,780円 = -12,280円

赤字分は若手セミナー費から充当

5.7 年次大会の報告

・大木研究企画理事より説明された。

開催日時：平成20年11月15日13時～17時

開催場所：早稲田大学大久保キャンパス

投稿論文数：口頭発表32件、ポスター25件、計57件

内 論文Ⅱ（学会誌投稿希望）5件

参加者：84名

特別講演：

溝口 計（ギガフォトン） 「産業用高出力レーザー開発への放電の応用」

産業用の高出力CO₂レーザ、リソグラフィ用エキシマレーザおよび最近世界の注目を浴びている日本発の技術であるCO₂レーザ励起EUV光源の開発の現状についての講演であった。

若手優秀論文発表賞：

(1) 奈良 努（名古屋大学）：「環境適合型植物油流動時の油中電界測定および油中電荷挙動」

(2) 坂本佳隆（金沢工業大学）：「オゾン注入と尿素SCRを併用したNO_x除去法の脱硝触媒低温化の検討」

(3) 糟谷寛明（東京電機大学）：「SF₆代替ガスとしてのCF₃I混合ガスの評価」

(4) 野村健一（早稲田大学）：「高速重イオン照射によるルチル単結晶の構造変化及びそのナノ加工への応用」

若手優秀ポスター発表賞：

(1) 日向真友美（早稲田大学）：「ナノフィラーおよびマイクロフィラー共添加がエポキシ

会計：

収入 240,500円 支出 313,282円

収支差 240,500円－313,282円＝－72,782円

赤字分は年次大会費から充当

5.8 総会の報告

- ・野末総務会計理事より説明された。
- ・開催日時：平成21年3月17日 17時30分より
- ・開催場所：北海道大学 百年記念会館内きやら亭

5.9 放電学会誌企画案

- ・新藤編集理事より放電研究の掲載案の説明がなされた。
- ・Vol.51 No.3 (2008年11月発行)
特集 「国際会議」
 1. GD-2008
 2. ICLP2008
 3. HAKONE XI I
- ・Vol.51 No.4 (2008年12月末発行予定)
特集 「放電学会若手セミナー」
 1. 若手セミナー講演 (2件)
 2. 若手セミナー優秀発表論文
- ・Vol.52 No.1 (2009年3月発行予定)
特集 「2008年放電学会年次大会」
 1. 2008年放電学会年次大会特別講演
 2. 関連投稿論文 (5件予定)

リレーエッセイ 「私の勉強法」 (新企画)
- ・Vol.52 No.2 (2009年6月発行予定)
特集 「放電学会春のシンポジウム」
シンポジウム講演を中心に構成
- ・Vol.52 No.3 (2009年10月発行)
特集 「国際会議」
 1. ISH2009
 2. ICPIG
 3. その他

• Vol. 52 No. 4 (2009年12月末発行予定)

特集 「放電学会若手セミナー」

1. 若手セミナー講演

2. 若手セミナー優秀発表論文

上記の他、投稿論文があれば掲載する。また、解説、随筆なども適宜掲載したいので、ご提案をお願いしたい。

• 年次大会優秀論文表彰者コメントを提出してもらいこれらを掲載する。

以上